

栃木県域出土の初期須恵器集成

いけ だ とし ひろ うち やま とし ゆき
池田 敏 宏・内山 敏 行

1. はじめに
2. 初期須恵器研究略史－栃木県域事例を中心に－
3. 栃木県域出土の初期須恵器集成
4. 収束－栃木県域における初期須恵器～定型化以降須恵器の傾向－

1・2章では、執筆の契機、ならびに栃木県域を中心とした初期須恵器の研究略史を記した。3章では、本県域出土の初期須恵器一覧ならびに集成図を提示した。4章では、5世紀代須恵器の本県域出土傾向を整理した。

1. はじめに

筆者の一人・内山は、長年にわたり朝鮮半島系遺物研究に関わると共に、東谷・中島地区遺跡群(古墳時代中期の下毛野中心地域)において伽耶系陶質土器・初期須恵器が比較的多く出土する意義付けを行ったことがある(内山 2013・2016)。

また、もう一人の筆者・池田は、真岡市石島地内に所在する、古代集落跡(くるま橋遺跡)の整理・報告書作成を担当しており⁽¹⁾、大量の7～10世紀土器群中に初期須恵器が数点、混ざっていることに気がついた⁽²⁾。だが、発掘調査報告書の性格からずれるため、『くるま橋遺跡Ⅱ』報文中では初期須恵器出土の事実記載と、栃木県域出土初期須恵器一覧表の部分提示にとどめた。

梁木 誠氏や、小森哲也氏が本県域出土初期須恵器を集成してから早30年(梁木 1987, 小森 1988)。資料蓄積および初期須恵器研究が飛躍的に進んだ現在の視点から、栃木県域出土の初期須恵器一覧・集成図を改めて提示することに意義を感じ、ここに小文を草した次第である。

2. 初期須恵器研究略史－栃木県域事例を中心に－

〔全般的傾向〕

周知のとおり、須恵器は、日本自生の焼き物ではない。4世紀末から5世紀前半頃、朝鮮半島から陶質土器や、その製作技術(穴窯を用いた還元焰焼成、回転台成形技術、専門工人など)がもたらされ、北部九州、瀬戸内、大阪湾岸などの地域で須恵器が生産されたのが始まりである⁽³⁾。なかでも、ヤマト王権(のち律令政府)膝下の陶邑窯跡群(大阪府泉北丘陵に所在)では、5世紀～10世紀に至るまで、継続的に数多くの窯が営まれたことが調査・研究の結果、明らかとなっている(併せて、精緻な出土須恵器編年等々が示され、全国的に窯業遺跡・遺構・遺物研究が進展するための礎を築いた)⁽⁴⁾。

〔本県域の動向〕

一方、東国各地でも1970年代以降の発掘調査事例増加に伴い古墳時代以降の土師器編年研究が活発化した。そして、広域クロス・デティニングに有益な陶邑窯産須恵器や⁽⁵⁾、在地産土師器に見られる須恵器の影響などに関心が及ぶようになっていった(本県の古墳時代土器編年としては大島 1979, 橋本 1981, 橋本・梁木 1984, 梁木・田熊 1989, 津野 1995, 梁木 1998, 藤田 1999 などがある)。そうした流れのもと、1987年11月

には、『東国における古式須恵器をめぐる諸問題』と題されたシンポジウムが開催された(千曲川水系古代文化研究所編 1987)。その際、梁木 誠氏は栃木県域の初期須恵器動向を要約、須恵器を模倣した土師器が定量確認できることを報告した(梁木 1987)。また翌年には、小森哲也氏が下野市(旧・南河内町)二ノ谷遺跡の考察において県内出土古式須恵器の傾向概観(遺跡の種別、器種、土師器編年との対応関係、位置付け)や、他地域事例(西日本、ひいては朝鮮半島伽耶地域)との比較を試みている(小森 1988)。

次いで、柳沼賢治氏は、科学研究費補助金基盤研究『阿武隈川流域における古墳時代首長層の動向把握のための基礎研究』に携わり、北関東以北の 1 道 9 県を対象に古式須恵器出土遺跡分布を検討⁽⁶⁾。南東北「内陸部では栃木県宇都宮市や小山市周辺と福島県の阿武隈川中上流域に大きな搬入拠点が見出せる」旨を示唆している(柳沼 2015, 42 頁)。

また、宇都宮市東谷・中島地区付近で大規模開発事前発掘調査が行われた際、播磨期～初期須恵器ばかりでなく、伽耶系陶質土器も出土し、一躍注目を集めた(本稿掲載「栃木県域出土初期須恵器一覧表」を参照)。内山は調査担当者として、この発掘～報告書作成に関わると同時に(内山 2005・2010・2013)、当該地域の中期集落・豪族居館・古墳群の諸関係整理を行っている(その際、南部居館周辺が渡来系文化を導入する窓口となっていた可能性を指摘)(内山 2016)。

3. 栃木県域出土の初期須恵器集成

本県域出土の初期須恵器としては、116 例(2020 年 2 月 19 日現在)がある。以下に出土地一覧表・集成図、ならびに凡例を示す。

栃木県域出土初期須恵器一覧(凡例)

- ① 「2. 初期須恵器研究略史ー栃木県域出土初期須恵器を中心にー」で触れたように、梁木誠氏、小森哲也氏、柳沼賢治氏らによって詳細な初期須恵器出土地一覧表が作成されている。栃木県域出土初期須恵器一覧表、ならびに集成図は、これらを底本としつつ、その後の知見を踏まえ加除筆を行っている。
- ② 本一覧表・集成図は、栃木県域で出土した陶質土器、初期須恵器(陶器窯編年・播磨期～TK208 号窯式段階)を極力集成することを目的とした。ただし、小破片で時期(型式)特定困難資料については割愛した事例も一部存在する。
- ③ 本一覧表ならびに集成図とも遺物No.は同一とした。なお、須恵器の時期(型式)比定は、共著者(内山・池田)が話合った結果である。
- ④ 初期須恵器出土事例の比較・検討データとして、須恵器定型化以降(陶器窯編年 TK23 号・47 号窯式～TK10 号窯式段階)の事例 129 例も扱っている。ただし、参考データなので時期(型式)特定が可能な資料を取り上げており、必ずしも網羅的集成にはなっていない。
- ⑤ 須恵器甕は、型式変化の特徴が緩く、かつ少なく、単独品では時期(型式)特定が困難な場合が多い(とりわけ、体部破片出土事例)。それゆえ、時期特定可能資料(須恵器坏・甕類、土師器坏・甕類、埴輪破片など)が共伴していない事例については一覧表・集成図、参考データへの掲載を割愛している。
- ⑥ 2020 年 2 月の時点で整理作業が完結していない真岡市くるま橋遺跡、小山市西高椅遺跡、下野市箕輪城跡、大田原市酢屋 5 号墳などは掲載していない。

4. 収束－栃木県域における初期須恵器～定型化以降須恵器の傾向－

- (1) 栃木県域の陶質土器は4遺跡5例がある。祭祀遺跡の可能性が高い白山台遺跡[5]以外は、いずれも県央部からの出土で、宇都宮市南部～下野市北部に目立つ(第12図)。なお、権現山遺跡[1,2]、殿山遺跡[3]は豪族居館絡みの出土事例である。
- (2) 揺籃期～TK216号窯式段階の須恵器は8遺跡44例ある。ほとんどが栃木県央部からの出土である。上記・陶質土器と同じく宇都宮市南部～下野市北部に分布傾向がある(第12図)。一方、新郭遺跡[16～18]、砂部遺跡[20～25]など集中分布域から離れた地域で出土する事例も存在する。出土遺跡の性格を見てみると、豪族居館絡みが5例[6～8,14・15]、首長墳(前方後円墳)が1例[11]、集落出土が7例[9,10,12,13,16～18]ある。器種を見ると、坏(蓋・身)よりも特殊器種(組紐文有蓋壺、把手付高坏・碗)、筒形器台、高坏、甕が占める比率が高い。
- (3) TK208号窯式段階の須恵器は30遺跡88例ある。栃木県央部に加え県北部(那須地域)、県南部(小山・野木、足利地域)からも出土している。前代と同様、豪族居館関係遺跡[30～34,91～98,105]や首長墳(帆立貝型前方後円墳)[74～89]、拠点集落[20～29,72,90,99・100,102～109,111,113～89]から一定量が出土している。なお、本時期以降、円墳[36～71,110,114]でも須恵器が出土するようになっていく。出土器種は、坏(蓋・身)、甕、樽形甕、壺、鉢など多種多様である。ちなみに、本時期以降、時期特定可能資料を共伴する須恵器甕の出土[29,41・42,63・64,68・69,93・94,102～105,108,111]が目立つようになってくる。墳丘を飾る甕(篠原2006, 佐藤2018・2019)の初現を考えていく上で興味深い事象と言える。
- (4) 本稿では、定型化以降(TK23・47～TK10号窯式)の須恵器例として33遺跡129例を取り上げた。まず、古墳出土事例について記す。前代と比べて須恵器出土古墳の数は少なくなる。しかし、その一方で、古墳1基あたりの須恵器出土数量が増加する傾向がうかがえる[126～139,160～171など]。次に集落出土事例について記す。本時期以降、拠点集落だけでなく中規模集落[117～120など]でも須恵器が出土するようになっている。さらに、特殊器種よりも坏(蓋・身)の出土比率が勝るようになっている。竪穴住居(建物)跡出土須恵器をめぐるライフ・サイクル(life cycle)検討を行う必要を痛感する。なぜならば、小森氏が指摘するよう、この時期の須恵器は「「だれもが所有していた」ものではない」のであるから(小森1988,140頁)。

謝辞

酒井清治氏(前・駒澤大学教授)には、真岡市くるま橋遺跡出土初期須恵器の御教示を頂くと共に、本データ公表の意義と激励を賜った。また、柳沼賢治氏(福島大学特任教授)からは、科研費研究(柳沼2015)バック・データである「栃木県における古式須恵出土遺跡地名表」の御提供を受けた。さらに、有馬由乃、石橋 宏、佐藤 啓、佐藤 渉、篠原浩恵、進藤敏雄、武田智子、津野 仁、永井智教の各氏から出土地一覧表作成・集成図作成・文献収集などに関する御助力を頂いた。末文ながら、記して御礼申し上げます。

〔註〕

註1 くるま橋遺跡は、真岡市役所二宮コミュニティーセンターから東へ約700mの地点、十二所神社附近に位置する。7世紀中葉～10世紀頃の土師器・須恵器・古代陶器、土製品、石製品、金属製品が出土する古代の拠点集落跡である。また併せて、古墳時代中期の遺構(方墳1基、竪穴住居跡2軒)、遺物(5世紀の土師器、初期須恵器)も発見されている(2020年7月、『くるま橋遺跡II』刊行予定)。

註2 酒井清治氏に見て頂いた結果、陶器窯編年・TK216号窯式に相当し、古手の可能性があるとの御教示を得た

(『くるま橋遺跡Ⅱ』をご参照頂きたい)。

註 3 菱田哲郎氏が指摘するように「[初期]須恵器の生産をもたらしたのは朝鮮半島からの渡来人」であり、「新しい焼き物を使う生活様式と、その技術が同時に伝わった」と推察できる(菱田 1997, 14 頁、ただし[]内は池田補記)。

なお、田辺昭三氏は、「定型化以前」(= TK73 号窯式から TK208 号窯式段階)の「須恵器の総称」として「初期須恵器」という語を用いている(田辺 1981)。また 2000 年以降の研究では、初期須恵器導入時の様相(TK73 号窯式以上に三国時代の陶質土器の特徴を色濃く残す)を示す語として「揺籃期」も用いられている(宮崎・藤永 2006, 10 頁など)。本稿では、これらの用語・定義を用いる。

註 4 陶邑窯跡群の調査成果、ならびに陶邑窯須恵器編年については、森 1958 文献、田辺 1966・1981 文献、中村 1980・1983・2006 文献、菱田 1997 文献、宮崎・藤永 2006 文献などが詳述している。また、全国ないし極東の規模で陶質土器・初期須恵器を扱ったものとして檜崎 1983 文献、九州古文化研究会 1985～1987 文献、宮川 2000 文献などがある。御併読頂きたい。

註 5 「古墳時代の須恵器は東海から北部九州にかけて対比できるほど規格性が強い。須恵器製作に規範が存在したことを示している。(略)この定型化は渡来技術の日本的消化を示すもの」と言え(宮川 2000, 44 頁)、広域クロス・ディテリングに有益な要素でもある。

註 6 柳沼氏は、これに加えて検討対象地域の「古式須恵器出土遺跡地名表」をバック・データとして作成している(2015 年 10 月時点データ、ただし科研費報告書に本表は掲載されていない)。本稿作成にあたって、柳沼氏から「栃木県における古式須恵器出土遺跡地名表」データの御提供があった。

なお、小野寿美子氏は、古霞ヶ浦沿岸地域(茨城県南部～千葉県北部)を対象に 5～7 世紀の須恵器出土地名表作成ならびに出土傾向検討を行っており(小野 2003)、本稿作成のヒントとなった。

【引用・参考文献】

「2. 須恵器研究略史－栃木県域出土初期須恵器を中心に－」関係 ※アイウエオ順

【全般的傾向】

大阪府教育委員会 1972～1994 『陶邑』Ⅰ～Ⅷ

小野寿美子 2003 「古霞ヶ浦沿岸地域における古墳時代須恵器の受容」『筑波大学 先史学・考古学研究』第 14 号、筑波大学歴史・人類学系 先史学・考古学コース

(財)大阪府埋蔵文化財協会 1992～1995 『陶邑・大庭寺遺跡』Ⅰ～Ⅳ

酒井清治 1984 「Ⅱ【報告】須恵器の源流－各地の初期須恵器をめぐる－ 関東地方」『日本陶磁の源流－須恵器出現の謎を探る－』檜崎彰一監修、柏書房

九州古文化研究会 1985～1987 『古文化探叢』第 15・16・18 集 特集・初期須恵器の地域相

田辺昭三 1966 『陶邑古窯跡群Ⅰ』平安学園考古学クラブ

田辺昭三 1981 『須恵器大成』角川書店

中村 浩 1980 『考古学ライブラリー 5 須恵器』ニュー・サイエンス社

中村 浩 1983 「和泉陶邑窯出土遺物の時期編年」『陶邑』Ⅲ、大阪府教育委員会

中村 浩 2006 『シリーズ「遺跡を学ぶ」028 泉北丘陵に広がる須恵器窯・陶邑窯跡群』新泉社

檜崎彰一監修 1984 『日本陶磁の源流－須恵器出現の謎を探る－』柏書房

菱田哲郎 1997 『歴史発掘 10 須恵器の系譜』講談社

宮川禎一 2000 『日本の美術』No. 407 陶質土器と須恵器、至文堂

宮崎泰史・藤永正明 2006 『平成 17 年度冬季企画展 重要文化財指定記念 年代のものさし－陶邑の須恵器－』大阪府立近つ飛鳥博物館

森 浩一 1958 「和泉・河内窯出土の須恵器編年」『世界陶磁全集』1、河出書房

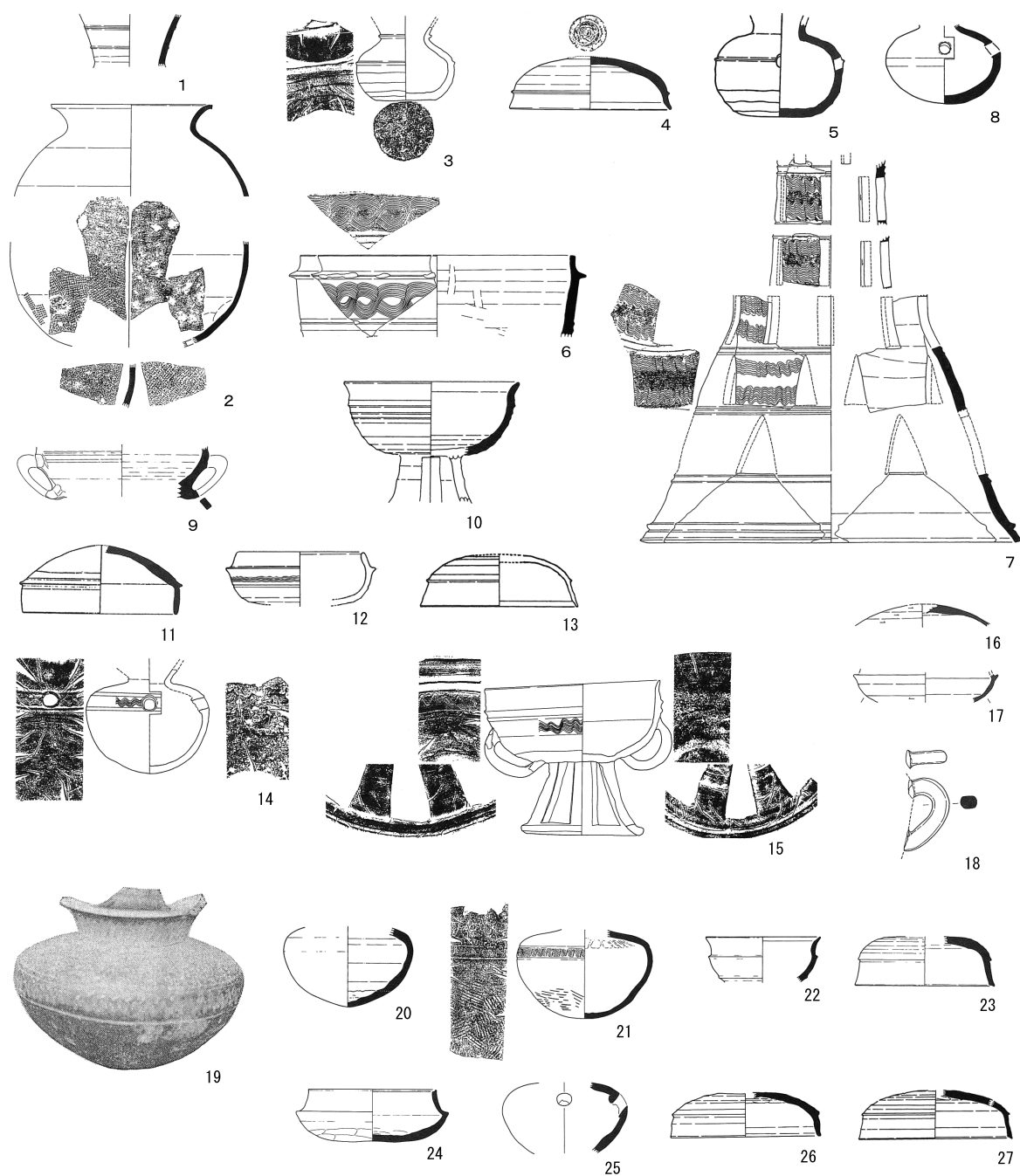
【本県域の動向】

内山敏行 2005 「第 13 章 まとめ 第 3 節 古墳時代の集落と遺物」『東谷・中島地区遺跡群 5 立野遺跡』栃木県教

- 育委員会・(財)とちぎ生涯学習文化財団
- 内山敏行 2010「第12章 まとめ 第2節 古墳時代」『東谷・中島地区遺跡群 10 権現山遺跡北部・杉村遺跡』栃木県教育委員会・(財)とちぎ生涯学習文化財団
- 内山敏行 2013「第12章 まとめ 第2節 古墳時代」『東谷・中島地区遺跡群 14 権現山遺跡南部・磯岡遺跡』栃木県教育委員会・(財)とちぎ未来づくり財団
- 内山敏行 2016「古墳時代中期の下毛野地域と東谷・中島地区遺跡群」『とちぎを掘るー栃木の考古学の到達点ー』栃木県考古学会編、随想舎
- 大島和子 1979「権現山北遺跡出土の和泉式土器」『峰考古』第2号、宇都宮大学考古学研究会
- 小森哲也 1988「第6章 成果と問題点 第3節 D5-SI002の須恵器について」『二ノ谷遺跡』住宅・都市整備公団財団法人栃木県文化振興事業団
- 佐藤 渉 2018「牛塚古墳出土の須恵器甕ー「赤い甕」の儀礼ー」『牛塚古墳・車塚古墳』I、壬生町教育委員会
- 佐藤 渉 2019「群集墳の大甕儀礼ー群馬県西部を中心にー」『アーキオ・クレイオ』第16号、東京学芸大学考古学研究室
- 篠原祐一 2006「須恵器大甕祭祀」『栃木県考古学会誌』第27集、栃木県考古学会
- 千曲川水系古代文化研究所編 1987『第8回 3県シンポジウム 東国における古式須恵器をめぐる諸問題』北武蔵古代文化研究会・群馬県考古学研究所・千曲川水系古代文化研究所
- 津野 仁 1995「栃木県における6・7世紀の土器編年と地域的特徴」『東国土器研究』第4号 特集 東国における律令制成立までの土器様相、東国土器研究会
- 橋本澄朗 1981「6 古墳時代の土器」『栃木県史』通史編1、栃木県
- 橋本澄朗・梁木 誠 1984「V 栃木県」『古墳時代土器の研究』古墳時代土器研究会
- 柳沼賢治 2015「阿武隈川流域の古式須恵器」『阿武隈川流域における古墳時代首長層の動向把握のための基礎研究』(課題番号25370886)平成25～27年度科学研究費補助金 基盤研究(B) 研究報告書 研究代表者 菊地芳朗、福島大学行政政策学類
- 柳沼賢治 2019「福島県中通りの古墳と集落ー郡山盆地の中期を中心にー」『古墳分布北縁地における地域間交流解明のための実証的研究』(課題番号16H03504)平成28～30年度科学研究費補助金 基盤研究(C) 研究報告書 研究代表者 菊地芳朗、福島大学行政政策学類
- 梁木 誠 1987「栃木県の様相」『第8回 3県シンポジウム 東国における古式須恵器をめぐる諸問題』北武蔵古代文化研究会・群馬県考古学研究所・千曲川水系古代文化研究所
- 梁木 誠・田熊清彦 1989「栃木県の彩色土器について」『東国土器研究』第2号 特集 黒色土器ー出現と背景、東国土器研究会
- 梁木 誠 1998「栃木県における古墳時代中期の土器様相」『栃木県立なす風土記の丘資料館第6回企画展 ムラ・まつり・古墳ー5世紀の北関東ー』栃木県教育委員会
- 藤田典夫 1999「栃木県における5世紀の土器編年」『東国土器研究』第5号 特集 東国における古墳時代中期の土器様相と諸問題、東国土器研究会
- 「3. 栃木県域の初期須恵器集成」関係 ※一覧表掲載順**
- 1・2,6・7,30～32,157・158 栃木県教育委員会・財団法人とちぎ生涯学習文化財団 2010『栃木県埋蔵文化財調査報告第331集 東谷・中島地区遺跡群 10 権現山遺跡北部・杉村遺跡』/2013『栃木県埋蔵文化財調査報告第360集 東谷・中島地区遺跡群 14 権現山遺跡南部・杉村遺跡』
- 3,14,15,91～98,199～202 日本窯業史研究所 1995『栃木県上三川町 殿山遺跡I』
- 4 住宅・都市整備公団・財団法人栃木県文化振興事業団 1988『栃木県埋蔵文化財調査報告第97集 二ノ谷遺跡』
- 5,11・12,88・89,115・116,209 梁木 誠 1987「栃木県の様相」『第8回 3県シンポジウム 東国における古式須恵器をめぐる諸問題』北武蔵古代文化研究会・群馬県考古学研究所・千曲川水系古代文化研究所
- 8,33～35,159～171 栃木県教育委員会・財団法人とちぎ生涯学習文化財団 2001『栃木県埋蔵文化財調査報告第257集 権現山遺跡・百目鬼遺跡』

- 9,22～25 栃木県教育委員会・財団法人栃木県文化振興事業団 1990『栃木県埋蔵文化財調査報告第108集 砂部遺跡』
- 10,26・27 栃木県教育委員会・財団法人とちぎ生涯学習文化財団 2007『栃木県埋蔵文化財調査報告第305集 東谷・中島地区遺跡群8 砂田遺跡』
- 12・13,90,177 宇都宮市教育委員会 1979『宇都宮市埋蔵文化財調査報告第5集 権現山北遺跡』
- 16～18 栃木県教育委員会・財団法人栃木県文化振興事業団 1998『栃木県埋蔵文化財調査報告第214集 新郭古墳群・新郭遺跡・下り遺跡』
- 19 湯津上村 1978『湯津上村誌』
- 28・29,152～156 栃木県教育委員会・財団法人とちぎ生涯学習文化財団 2005『栃木県埋蔵文化財調査報告第290集 東谷・中島地区遺跡群5 立野遺跡』
- 36～49,172 栃木県教育委員会・財団法人とちぎ生涯学習文化財団 2008『栃木県埋蔵文化財調査報告第311集 東谷・中島地区遺跡群9 中島笹塚古墳群・中島笹塚遺跡』
- 50～71,173～175 栃木県教育委員会・財団法人とちぎ生涯学習文化財団 2007『栃木県埋蔵文化財調査報告第299集 東谷・中島地区遺跡群7 磯岡北古墳群』
- 72 栃木県教育委員会・財団法人とちぎ生涯学習文化財団 2006『栃木県埋蔵文化財調査報告第292集 東谷・中島地区遺跡群6 磯岡遺跡』
- 74～87,126～139 宇都宮市教育委員会 2003『宇都宮市埋蔵文化財調査報告第48集 塚山南古墳・塚山西古墳』
- 99,203～206 日本窯業史研究所 1989『栃木県壬生町 宮の森集落遺跡群』
- 100,207 栃木県教育委員会・財団法人栃木県文化振興事業団 1991『栃木県埋蔵文化財調査報告第121集 鹿沼流通業務団地内遺跡』
- 101 大橋泰夫 1987「国分寺町出土の樽形甕」『考古回覧』創刊号、考古学談話会
- 102,215～217 栃木県教育委員会・財団法人とちぎ生涯学習文化財団 2007『栃木県埋蔵文化財調査報告第313集 市ノ塚遺跡』
- 103 栃木県教育委員会・財団法人とちぎ生涯学習文化財団 2009『栃木県埋蔵文化財調査報告第324集 曲田遺跡・馬場先遺跡』
- 104 栃木県教育委員会・財団法人栃木県文化振興事業団 1984『栃木県埋蔵文化財調査報告第57集 赤羽根』
- 105 栃木県教育委員会・財団法人栃木県文化振興事業団 1993『栃木県埋蔵文化財調査報告第138集 成沢遺跡』
- 106 栃木県教育委員会・財団法人栃木県文化振興事業団 1985『栃木県埋蔵文化財調査報告第70集 鷹の巣前・本郷前・向野原遺跡』
- 107・108,220～223 栃木県教育委員会・財団法人栃木県文化振興事業団 1996『栃木県埋蔵文化財調査報告第180集 西裏遺跡』
- 109 栃木県教育委員会・公益財団法人とちぎ未来づくり財団 2011『栃木県埋蔵文化財調査報告第336集 千駄塚浅間遺跡・栗宮宮内遺跡』
- 110 小山市教育委員会 1985『小山市埋蔵文化財調査報告第16集 宮内北遺跡』
- 111 小山市教育委員会 1982『小山市埋蔵文化財調査報告第11集 乙女不動原北浦遺跡』
- 112・113,230 栃木県教育委員会・財団法人栃木県文化振興事業団 1998『栃木県埋蔵文化財調査報告第227集 清六Ⅲ遺跡Ⅲ(古墳時代編)』
- 114 栃木県教育委員会・財団法人とちぎ未来づくり財団 2012『栃木県埋蔵文化財調査報告第351集 菅田古墳群』
- 115・116 足利市教育委員会 1980『丸山耕地遺跡』
- 117～120 宇都宮市教育委員会 1993『宇都宮市埋蔵文化財調査報告第31集 聖山公園遺跡(古代・中世)』
- 121～125 宇都宮市教育委員会 1994『宇都宮市埋蔵文化財調査報告第35集 雷電山遺跡』
- 140～147 宇都宮市教育委員会 2007『宇都宮市埋蔵文化財調査報告第61集 辻の内遺跡』
- 148・149 栃木県教育委員会・財団法人栃木県文化振興事業団 2000『栃木県埋蔵文化財調査報告第239集 成願寺

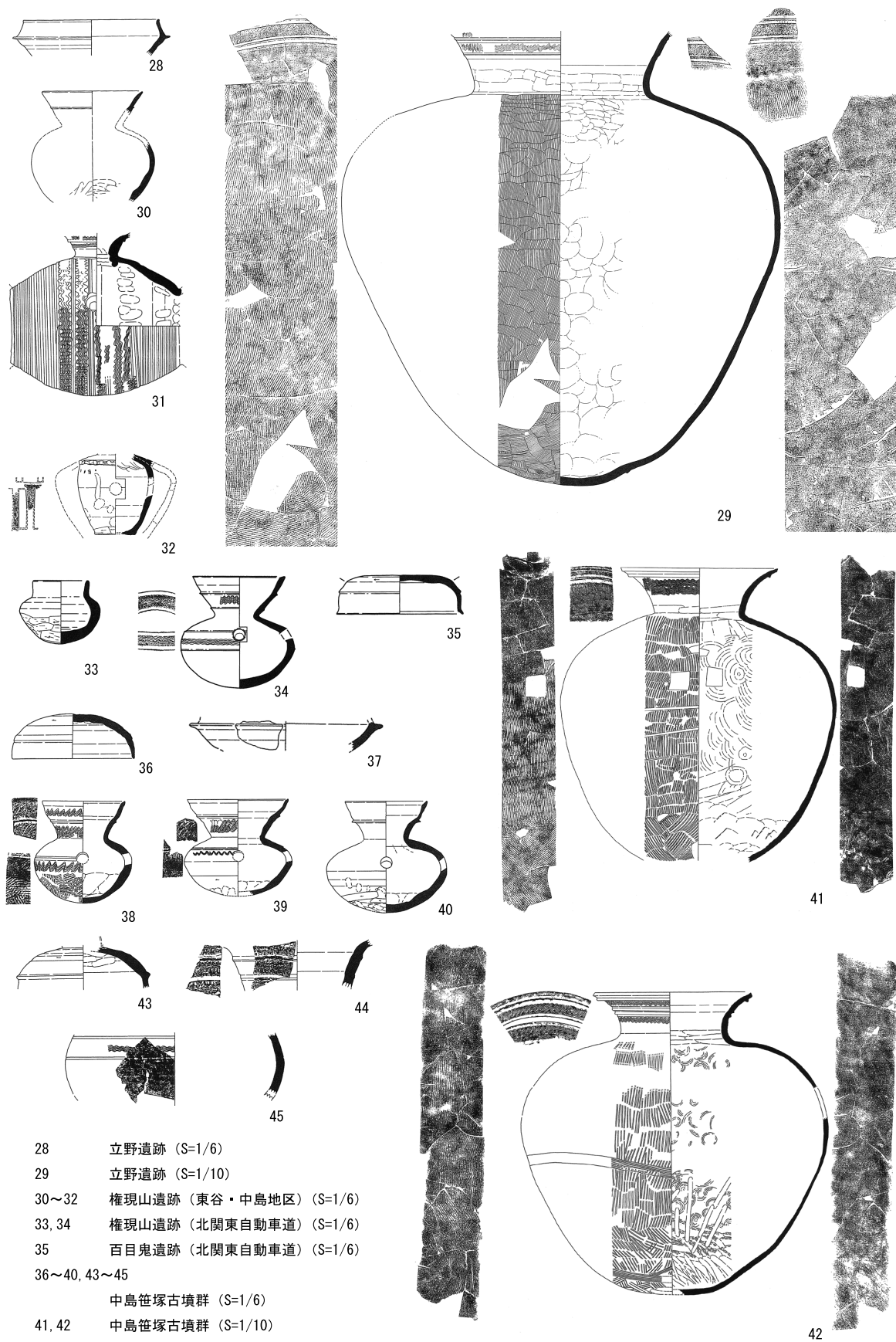
- 遺跡』
- 150・151 栃木県教育委員会・財団法人とちぎ生涯学習文化財団 2001『栃木県埋蔵文化財調査報告第251集 大関台遺跡』
- 176 栃木県教育委員会・財団法人とちぎ生涯学習文化財団 2009『栃木県埋蔵文化財調査報告第318集 権現山遺跡・東谷北浦遺跡』
- 178～198 梁木 誠 1981「宇都宮市富士見町向山出土の須恵器」『峰考古』第3号、宇都宮大学考古学研究会
- 218・219 小山市教育委員会 1986『小山市埋蔵文化財調査報告第17集 喜沢海道間遺跡』
- 208 栃木県教育委員会・財団法人栃木県文化振興事業団 1999『栃木県埋蔵文化財調査報告第223集 台畑遺跡・谷向遺跡』
- 210・211 植木茂雄・君島利行 1984「上三川町大山地区内出土の須恵器」『栃木県考古学会誌』第8集、栃木県考古学会
- 212 栃木県教育委員会 1974『栃木県埋蔵文化財調査報告第14集 井頭』
- 214 秋元陽光・斎藤 弘 1984「芳賀郡二宮町大和田富士山古墳について」『栃木県考古学会誌』第8集、栃木県考古学会
- 224・225 栃木県教育委員会・財団法人栃木県文化振興事業団 1994『栃木県埋蔵文化財調査報告第149集 田間東道北遺跡』
- 226～229 栃木県教育委員会・財団法人栃木県文化振興事業団 1998『栃木県埋蔵文化財調査報告第209集 寺野東遺跡Ⅶ（古墳時代墳墓編）』
- 231・232 栃木県教育委員会 1977『栃木県埋蔵文化財調査報告第19集 上敷遺跡』
- 213 真岡市 1984『真岡市史』第1巻 考古資料編
- 233～245 栃木県教育委員会・財団法人栃木県文化振興事業団 1995『栃木県埋蔵文化財調査報告第165集 馬門南遺跡』
- 246 栃木県教育委員会・財団法人栃木県文化振興事業団 1995『栃木県埋蔵文化財調査報告第159集 乙畑・大久保古墳群』



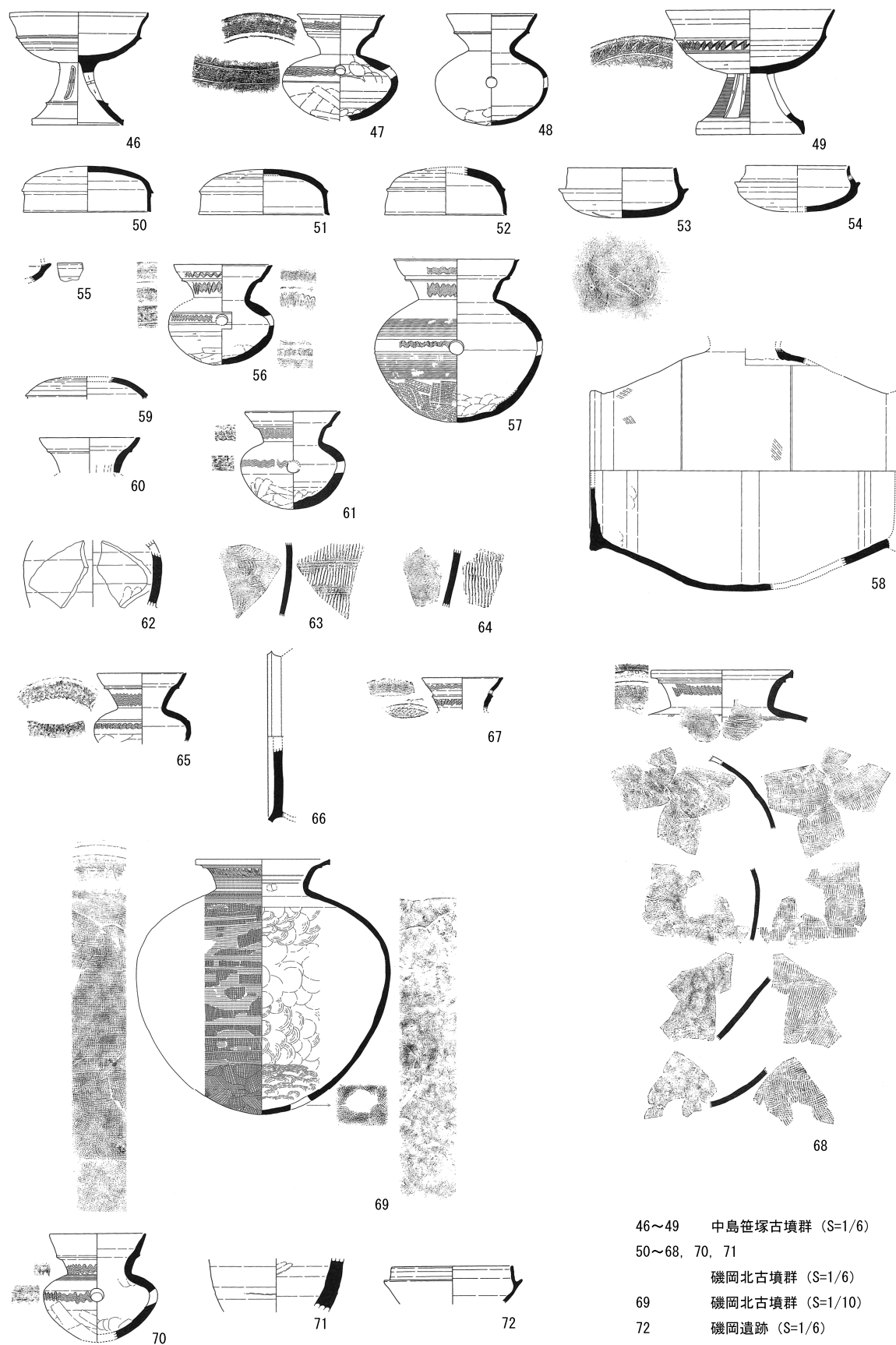
- 1, 2 権現山遺跡（東谷・中島地区）（S=1/6）
 3 殿山遺跡（S=1/6）
 4 二ノ谷遺跡（S=1/6）
 5 白山台遺跡（S=1/6）
 6, 7 権現山遺跡（東谷・中島地区）（S=1/6）
 8 権現山遺跡（北関東自動車道）（S=1/6）
 9 砂部遺跡（S=1/6）
 10 砂田遺跡（S=1/6）

- 11 塚山古墳（S=1/6）
 12 権現山北遺跡（2号住）（S=1/6）
 13 権現山北遺跡（7号住）（S=1/6）
 14, 15 殿山遺跡（S=1/6）
 16~18 新郭遺跡（S=1/6）
 19 岩船台出土
 20~25 砂部遺跡（S=1/6）
 26, 27 砂田遺跡（S=1/6）

第1図 栃木県域出土の初期須恵器（1）



第2図 栃木県域出土の初期須恵器 (2)

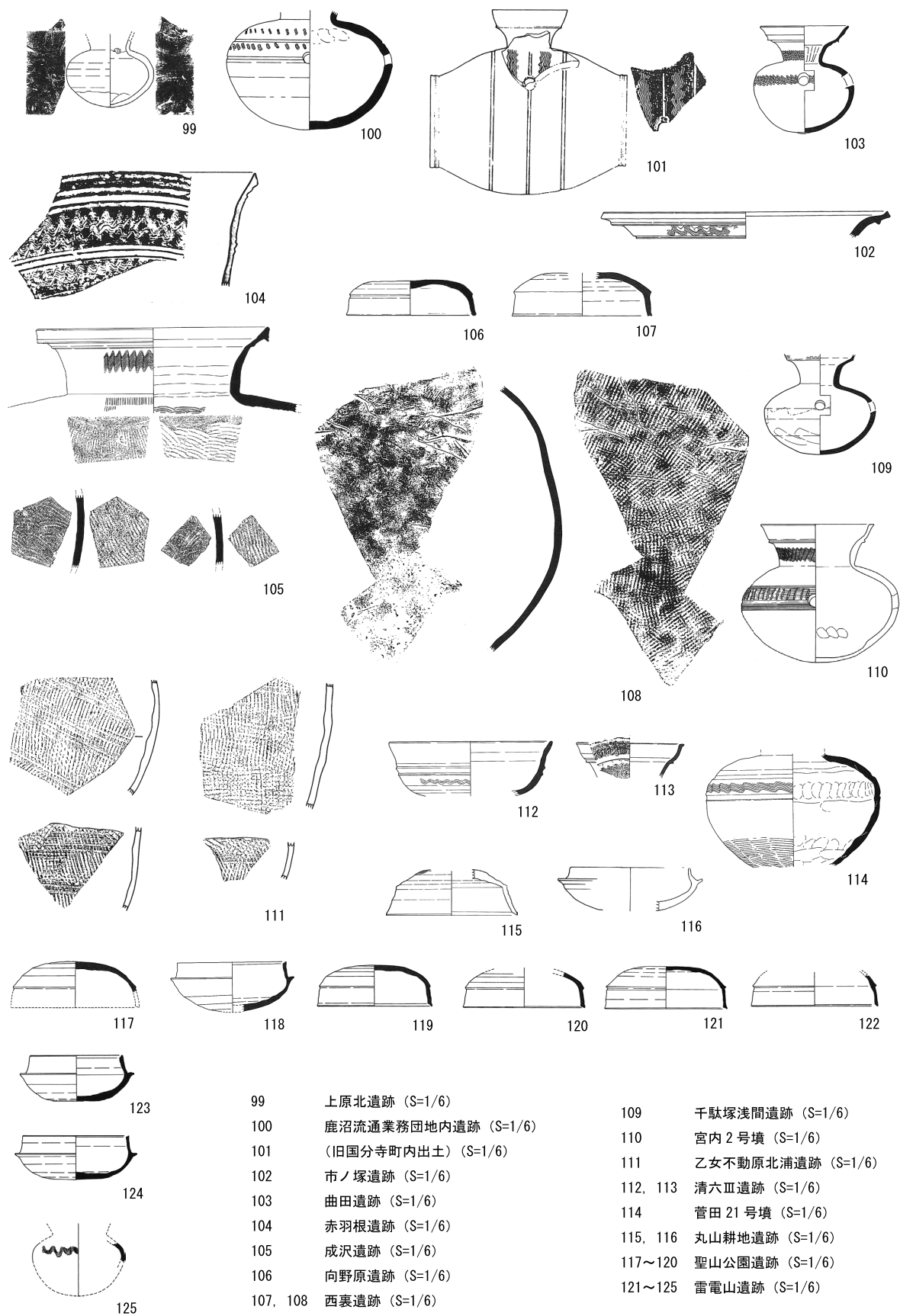


- 46～49 中島笹塚古墳群 (S=1/6)
 50～68, 70, 71 磯岡北古墳群 (S=1/6)
 69 磯岡北古墳群 (S=1/10)
 72 磯岡遺跡 (S=1/6)

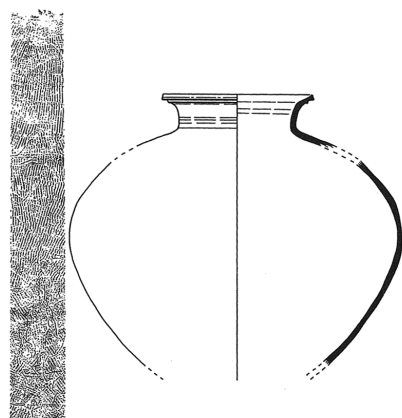
第3図 栃木県域出土の初期須恵器 (3)



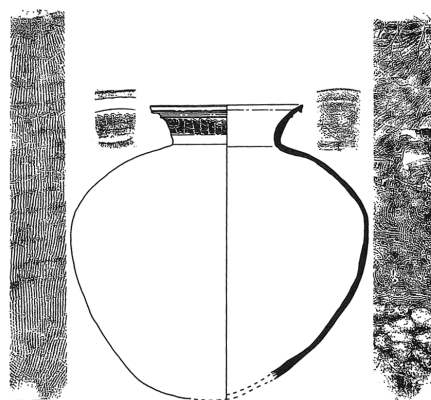
第4図 栃木県域出土の初期須恵器 (4)



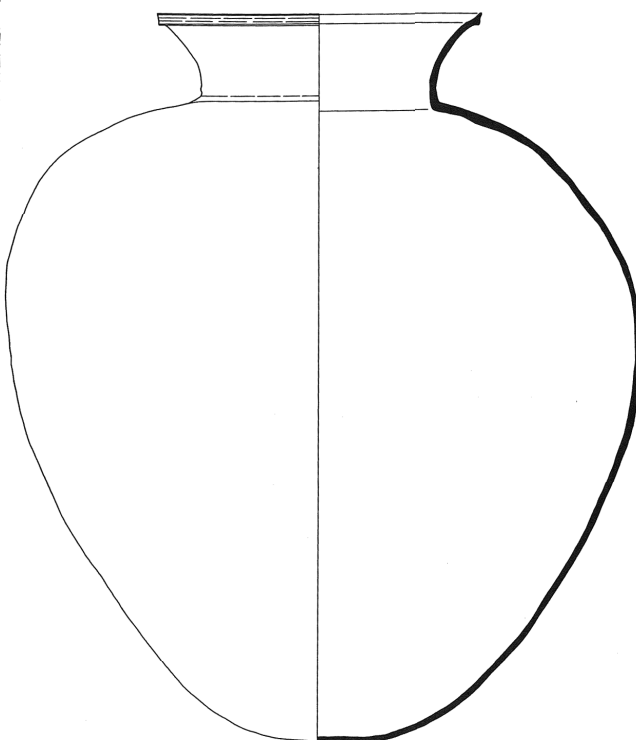
第 5 図 栃木県域出土の初期須恵器 (5) (定型化以降を含む)



126



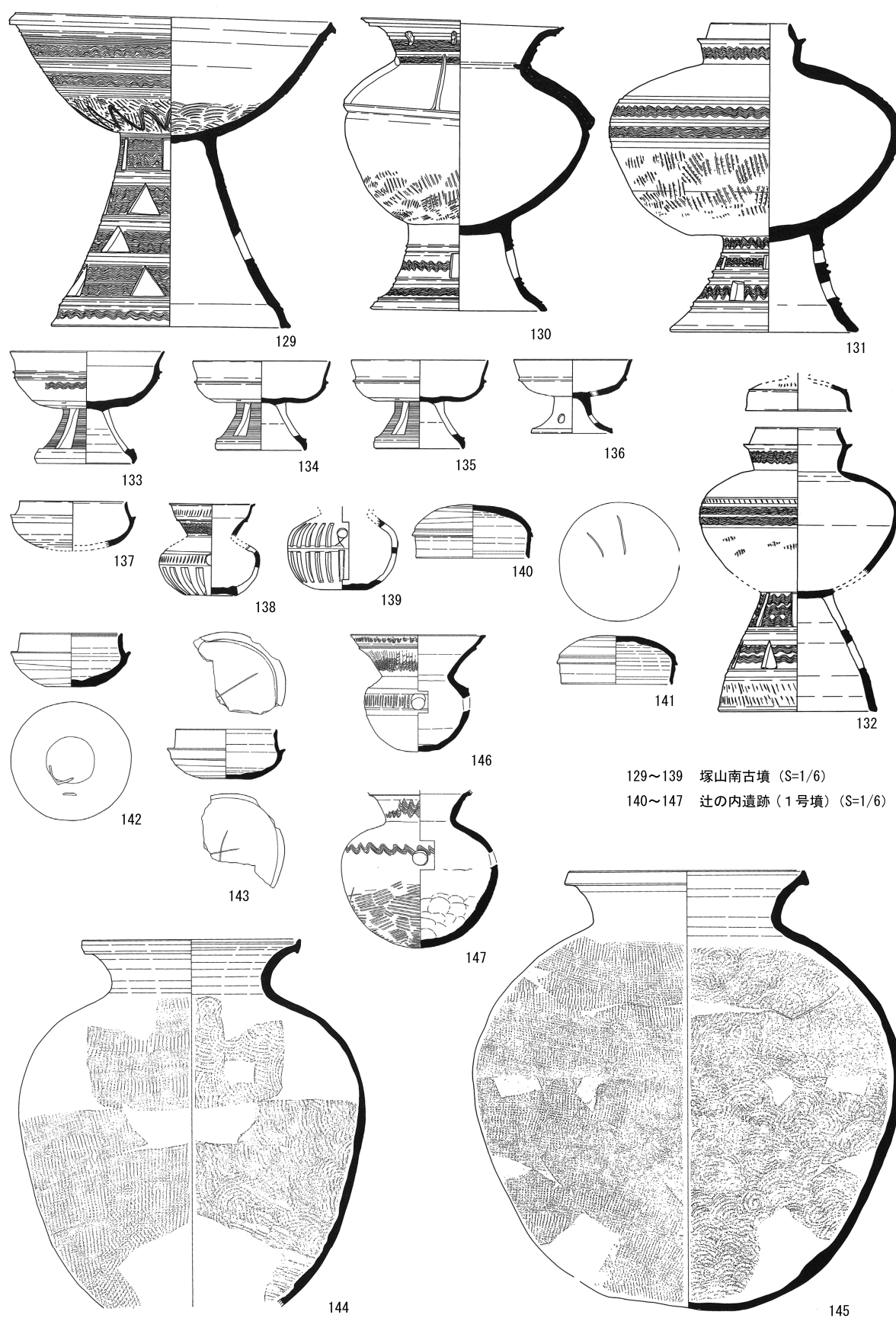
127



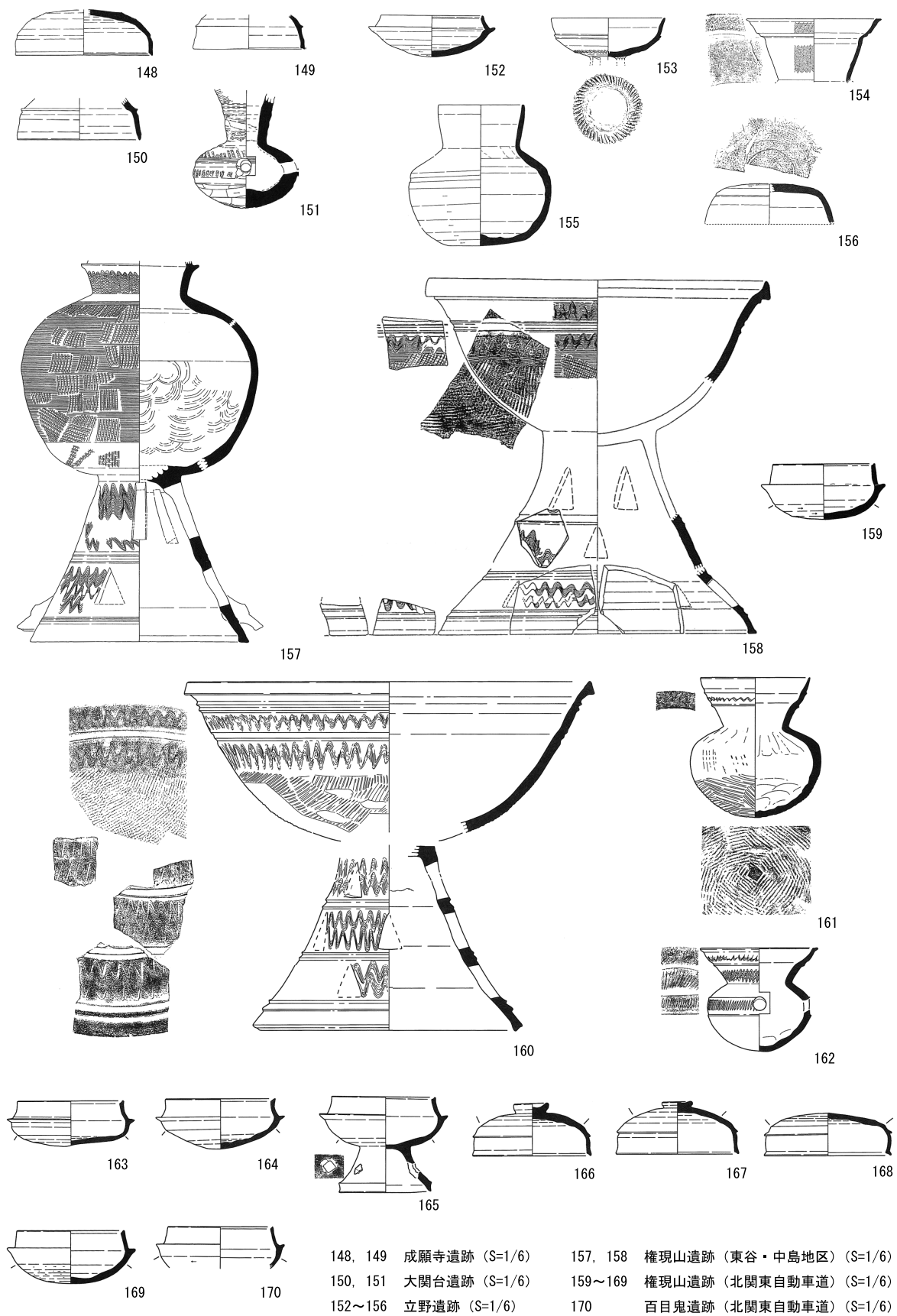
128

126～128 塚山南古墳 (S=1/10)

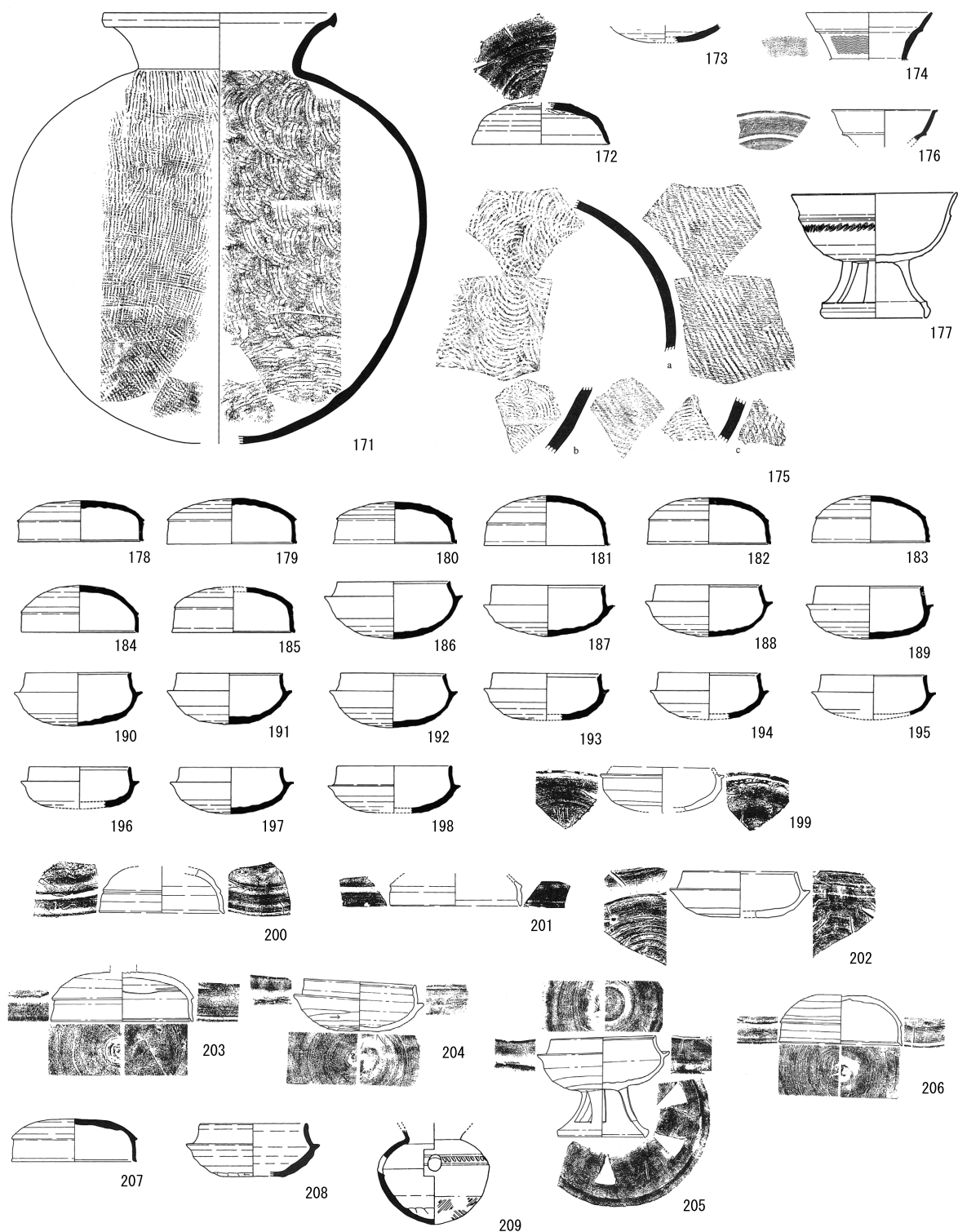
第6図 栃木県域出土の古式須恵器(6)(定型化以降)



第 7 図 栃木県域出土の古式須恵器 (7) (定型化以降)

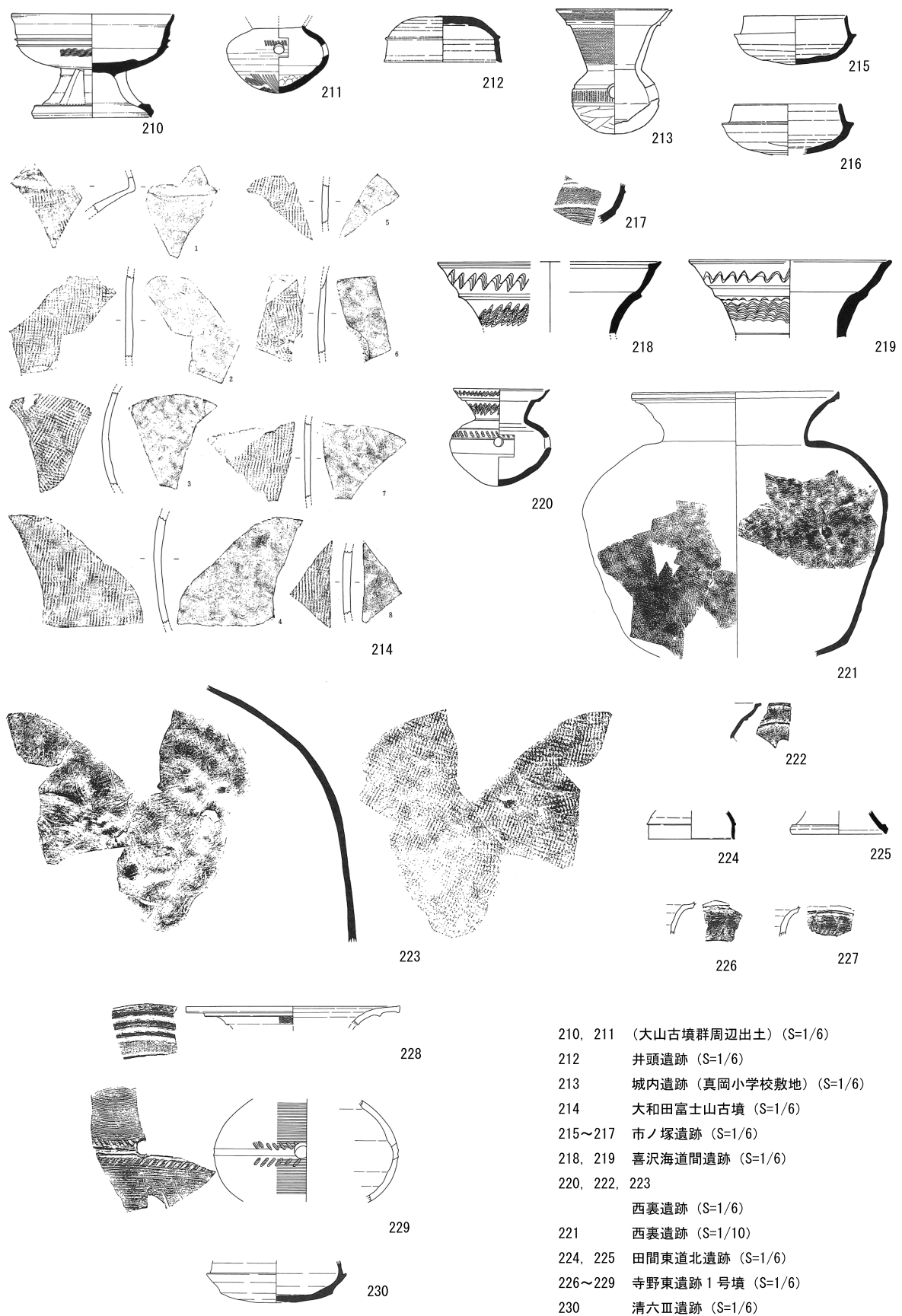


第8図 栃木県域出土の古式須恵器 (8) (定型化以降)

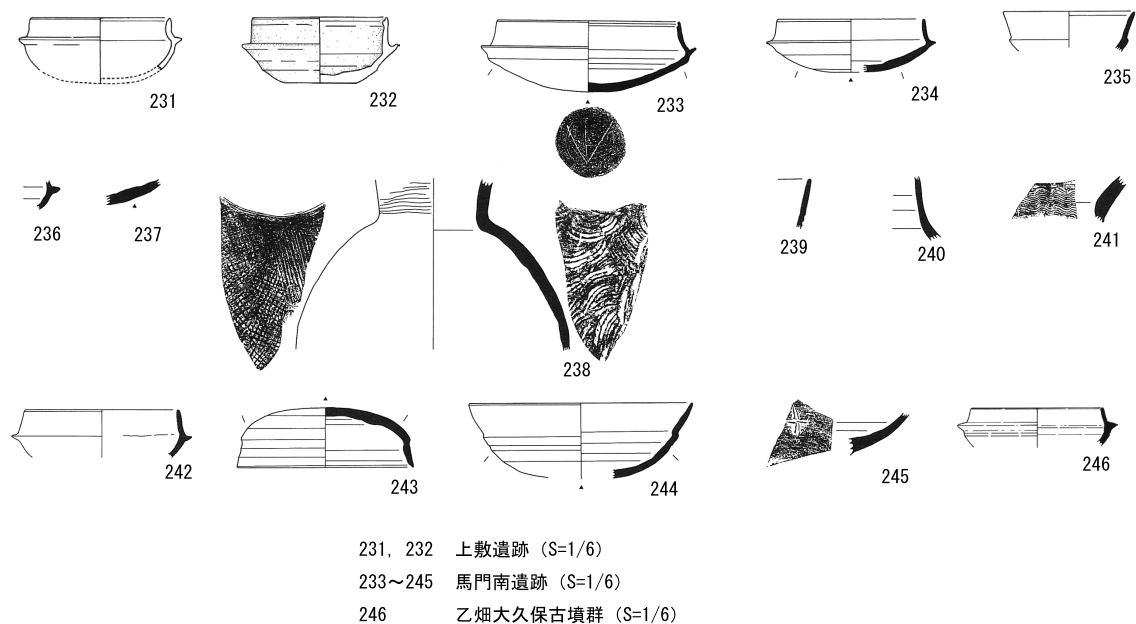


- | | | | |
|---------|-----------------------|---------|--------------------|
| 171 | 権現山遺跡（北関東自動車道）（S=1/6） | 199～202 | 殿山遺跡（S=1/6） |
| 172 | 中島笹塚遺跡（S=1/6） | 203～206 | 東林北遺跡（S=1/6） |
| 173～175 | 磯岡北古墳群（S=1/6） | 207 | 鹿沼流通業務団地内遺跡（S=1/6） |
| 176 | 東谷北浦遺跡（S=1/6） | 208 | 台畑遺跡（S=1/6） |
| 177 | 権現山北遺跡（16号住居）（S=1/6） | 209 | （日産工場付近出土）（S=1/6） |
| 178～198 | 宇向山出土（S=1/6） | | |

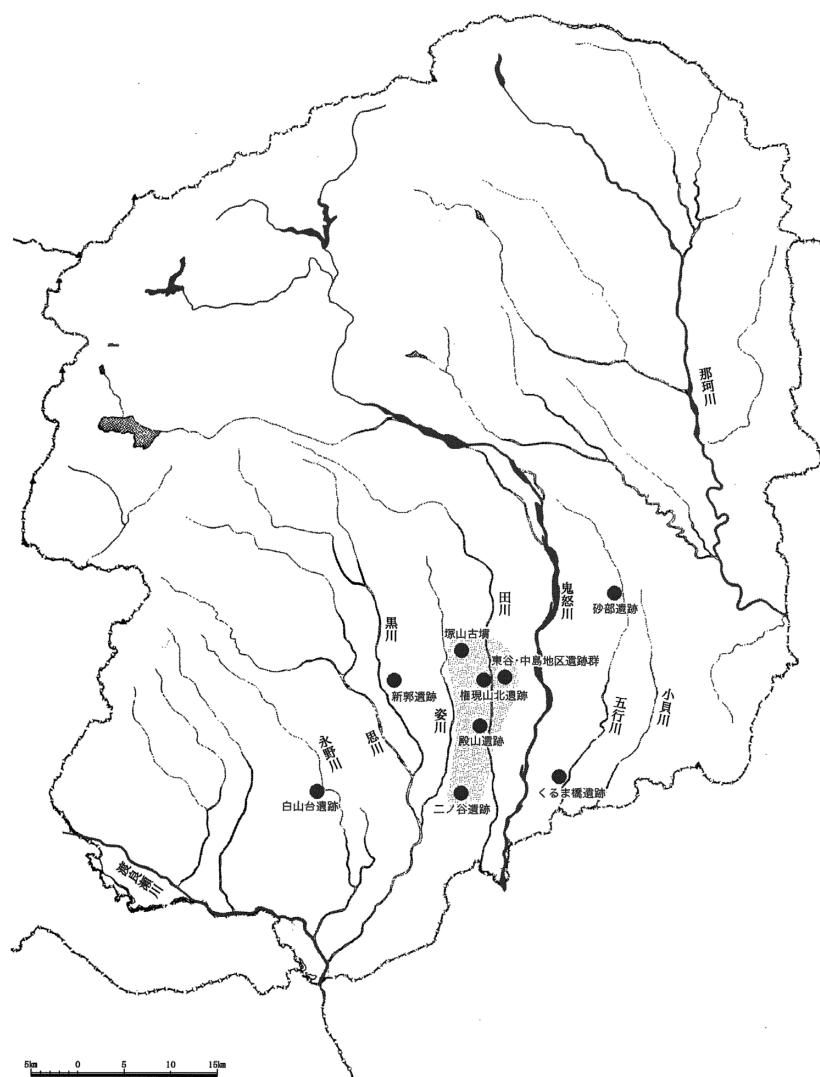
第 9 図 栃木県域出土の古式須恵器（9）（定型化以降）



第 10 図 栃木県域出土の古式須恵器 (10) (定型化以降)



第 11 図 栃木県域出土の古式須恵器 (11) (定型化以降)



第 12 図 栃木県域出土の陶質土器・TK216号窯式以前の須恵器 (分布図)

第 1 表 栃木県域出土初期須恵器一覧表 (1)

遺跡	所在地	遺跡の性格	須恵器型式	出土遺構	出土器種	備考
権現山遺跡(東谷・中島地区)	宇都宮市東谷町	豪族居館	---	居館付近溝, 居館付近の建物	壺(1), 小型壺(2)	伽耶系陶質土器
殿山遺跡	上三川町上神主	集落/豪族居館か	---	KT-121	小型壺(3)	伽耶系陶質土器
二ノ谷遺跡	下野市自治医大地区	集落	---	D5-SI002	坏蓋(4)	伽耶系陶質土器
白山台遺跡	栃木市皆川城内町	祭祀遺跡か	---	表面採集資料	ハソウ(5)	韓国栄山江流域の陶質土器
権現山遺跡(東谷・中島地区)	宇都宮市東谷町	豪族居館	大野池231号窯頃	SG10区SI-88	組紐文有蓋壺(6)	揺籃期須恵器
			TK73~TK216か	北部居館の溝と周辺	筒形器台(7)	
権現山遺跡(北関東自動車道)		集落/豪族居館/古墳群	TK216~208頃	B区SI-102	ハソウ(8)	権現山・百目鬼遺跡編年Ⅱ期の標識資料
砂部遺跡	高根沢町大字太田	集落	TK216	SI-157	把手付高坏(9)	
砂田遺跡	宇都宮市砂田町ほか	集落	TK216	6区SI-34	高坏(10)	
塚山古墳	宇都宮市西川田町	古墳(前方後円墳)	TK216	表面採集, 前方部西堀, 南周堀	坏蓋(11)	坏身, 甕, 高坏, 器台
権現山北遺跡	宇都宮市茂原町	集落	TK216か	2号住居	坏身(12)	梁木1998編年Ⅲ期の標識資料
			TK216~208頃	7号住居	坏蓋(13)	梁木1998編年Ⅳ期の標識資料
殿山遺跡	上三川町上神主	集落	TK73~TK216か	KT-52	ハソウ(14)	藤田1999編年Ⅱ期の標識資料
			TK216か	KT-28	把手付高坏(15)	
新郭遺跡	壬生町羽生田	集落/古墳	TK216~208	SI-29	坏蓋(16), 坏身(17)	
			TK216	SI-51	把手付碗(18)	
岩船台出土	大田原市湯津上	集落/古墳	TK208	---	ハソウ(19)	
砂部遺跡	高根沢町大字太田	集落	TK208	SI-230	ハソウ(20)	藤田1999編年Ⅲ期の標識資料
			TK208	SI-420	ハソウ(21)	藤田1999編年Ⅲ期の標識資料
			TK208	SI-422	鉢片か(22)	藤田1999編年Ⅲ期の標識資料
			TK208	SI-434	坏蓋(23), 坏身(24), ハソウ(25)	藤田1999編年Ⅲ期の標識資料
砂田遺跡	宇都宮市砂田町ほか	集落	TK208	4区SI-13	坏蓋(26・27)	
立野遺跡	宇都宮市東谷町ほか	集落	TK208~23か	5区SI-60	坏身(28), 大甕(29)	立野遺跡編年3段階の標識資料
権現山遺跡(東谷・中島地区)	宇都宮市東谷町	集落/豪族居館	TK208	SG5区SI-11	壺(30)	
			TK208	SG10区SI-108	樽形ハソウ(31)	
			TK208	SG10区SI50, SI64a	二重ハソウ(32)	
権現山遺跡(北関東自動車道)		集落/豪族居館/古墳群	TK208	A区SI-272	短頸壺(33)	権現山・百目鬼遺跡編年Ⅲ期標識資料
			TK208	B区SI-048	ハソウ(34)	権現山・百目鬼遺跡編年Ⅲ期標識資料
百目鬼遺跡(北関東自動車道)			TK208	SI-035	坏蓋(35)	
中島笹塚古墳群	宇都宮市砂田町	古墳(円墳)	TK208か	2号墳	坏蓋(36), 坏身(37), ハソウ(38~40), 大甕(41・42)	
		古墳(円墳)	TK208~47か	3号墳	高坏蓋(43), 壺(44・45)	
		古墳(円墳)	TK208~23か	10号墳	高坏蓋(46), 壺(47・48)	
		古墳(円墳)	TK23	12号墳	高坏(49)	

第2表 栃木県域出土初期須恵器一覧表(2)

遺跡	所在地	遺跡の性格	須恵器型式	出土遺構	出土器種	備考
磯岡北古墳群	宇都宮市砂田町ほか	古墳(円墳)	TK208	1号墳周溝	坏蓋(50～52), 坏身(53～55), ハソウ(56・57), 樽形ハソウ(58)	
		古墳(円墳)	TK208	2号墳	坏蓋(59), ハソウ(60・61), 壺(62), 甕(63・64)	
		古墳(円墳)	TK208	3号墳	ハソウ(65), 樽形ハソウ(66), 壺(67), 大甕(68)	
		古墳(円墳)	TK208	5号墳	甕(69)	
		古墳(円墳)	TK208	8号墳	ハソウ(70), 甕(73), 壺(71)	
磯岡遺跡	上三川町磯岡	集落	TK208～23か	5区SI-42	坏身(72)	後世の住居跡覆土への混入品
塚山西古墳	宇都宮市西川田町	古墳(帆立貝型前方後円墳)	TK208か	周溝覆土中	器台片, 高坏片, 甕, 鉢(74～87)	
雀宮牛塚古墳	宇都宮市新富町	古墳(帆立貝型前方後円墳)	TK208	詳細出土状況は不明	ハソウ(88), 高坏(89)	
権現山北遺跡	宇都宮市茂原町	集落	TK(216)～208	7号住居	坏蓋(90)	梁木1998編年Ⅳ期, 藤田1999編年Ⅲ期の標識資料
殿山遺跡	上三川町上神主	集落	TK208か	KT-51	坏身(91), ハソウ(92), 甕(93・94)	
			TK208～23	KT-53	坏身(95), 高坏(96), ハソウ(97), 壺(98)	
上原北遺跡	宇都宮市/壬生町	集落	TK208	KT-1号	ハソウ(99)	藤田1999編年Ⅲ期の標識資料
鹿沼流通業務団地内遺跡	鹿沼市上石川	集落	TK208	SI-96	ハソウ(100)	
(旧国分寺町内出土)	下野市国分寺	不明	TK208	表面採集資料	樽形ハソウ(101)	
市ノ塚遺跡	真岡市高田	集落	TK208	1区SI-825	甕(102)	共伴土器は藤田1999・Ⅲ期
曲田遺跡	真岡市高田	集落	TK208か	SI-20	ハソウ(103)	共伴土器は藤田1999編年Ⅲ-Ⅳ期. 須恵器は混入品か
赤羽根遺跡	栃木市岩舟町	集落	TK208	13号住居	甕(104)	共伴土器は藤田1999編年Ⅲ期
成沢遺跡	小山市南半田	豪族居館	TK208か	SD02	甕(105)	共伴土器は藤田1999・Ⅲ期
向野原遺跡	小山市上野原中久喜	集落	TK208	SI-01	蓋(B106)	
西裏遺跡	小山市田間	集落	TK208	SI-102	坏蓋(107), 甕(108)	
千駄塚浅間遺跡	小山市栗宮	集落	TK208	SI-05	ハソウ(109)	
宮内2号墳	小山市栗宮	古墳(円墳か)	TK208	周溝覆土	ハソウ(110)	
乙女不動原北浦遺跡	小山市乙女	集落	TK208か	K3号住居	甕(111)	共伴土器は藤田1999・Ⅲ期
清六Ⅲ遺跡	野木町	集落	TK208～23	SI-237	高坏(112)	
			TK208	SI-428	ハソウ(113)	
菅田21号墳	足利市菅田	古墳(円墳か)	TK208	墳頂部付近	ハソウ(114)	
丸山耕地遺跡	足利市/佐野市	集落	TK208～23か	表面採集資料	坏蓋(115), 坏身(116)	

【参考】栃木県域出土、定型化以降の須恵器例(1)

遺跡	所在地	遺跡の性格	須恵器型式	出土遺構	出土器種・点数	備考
聖山公園遺跡	宇都宮市上 欠町	集落	TK23～47	1号住居	坏蓋(117), 坏身(118)	梁木1998編年Ⅵ期, 藤田1999編年Ⅴ期の 標識資料
			TK23～47	23号住居	坏蓋(119)	
			TK23～MT15か	B区30号土坑	坏蓋(120)	
雷電山遺跡	宇都宮市江 曾島町	集落	TK23頃	SI-07A	坏蓋(121)	梁木1998編年Ⅴ期, 藤田1999編年Ⅳ期の 標識資料
			TK47頃	SI-01, 05	坏蓋(122), 坏身(123・ 124), ハソウ(125)	梁木1998編年Ⅴ期の標識資料
塚山南古墳	宇都宮市西 川田町	古墳(帆立貝型 前方後円墳)	TK23	くびれ部付近	甕(126～128), 器台(129), 装飾付脚付壺(130), 脚付有蓋壺 (131・132), 高坏(133～136), 坏身(137), 二重ハソウ(138・ 139)	
辻の内遺跡	宇都宮市西 川田町	集落/古墳	TK23	1号墳	坏蓋(140・141), 坏身(142・143), 甕(144・145), ハソウ (146・147)	
成願寺遺跡	宇都宮市西 刑部町	集落	MT15	31号住居	坏蓋(148)	
			TK23	3号住居	坏蓋(149)	
大関台遺跡	宇都宮市西 刑部町	集落	TK23-TK10	SI-166, SI-58	坏蓋(150), ハソウ(151)	後世の住居跡覆土への混入品
立野遺跡	宇都宮市東 谷町ほか	集落	MT15～TK10	5区SI-9	坏身(152), 高坏(153)	立野遺跡編年5段階の標識資料
		集落	MT15	5区SI-17	ハソウ(154)	立野遺跡編年5段階の標識資料
		集落	MT15～TK10	5区SI-61	壺(155)	立野遺跡編年5段階の標識資料
		集落	MT15～TK10	5区SK-91	坏蓋(156)	立野遺跡編年5段階の標識資料
権現山遺跡(東 谷・中島地区)		集落	TK23	SG10区SK-621	脚付有蓋壺(157)	
			TK23	SG10区SI-111上 層・SD-42ほか	高坏形器台(158)	
権現山遺跡(北 関東自動車道)	宇都宮市東 谷町	集落/豪族居館 /古墳群	TK23～47	A区SI-036	坏身(159)	
			TK23	B区SZ-003	高坏形器台(160), ハソウ (161・162), 坏身(163・ 164), 高杯(165), 坏蓋 (166～168)	権現山・百目鬼遺跡編年Ⅳ期標識資料
			TK47	B区SZ-004	坏身(169), 甕(171)	権現山・百目鬼遺跡編年Ⅳ期標識資料
百目鬼遺跡(北 関東自動車道)			TK23	SI-068	坏身(170)	
中島笹塚遺跡	宇都宮市砂 田町	集落	TK23～47か	6区SI-34	坏蓋(172)	
磯岡北古墳群	宇都宮市砂 田町ほか	古墳(円墳)	TK23～47	9号墳	坏身(173), ハソウ(174), 甕(175)	
東谷北浦遺跡	宇都宮市東 谷町	集落	TK23か	SI-80	ハソウ片(176)	
権現山北遺跡	宇都宮市茂 原町	集落	TK23～47	16号住居	無蓋高坏(177)	梁木1998編年Ⅵ期, 藤田1999編年Ⅴ期の 標識資料
字向山出土	宇都宮市富 士見町	不明	TK23～47	表面採集資料	坏蓋(178～185), 坏身(186～198)	

【参考】栃木県域出土、定型化以降の須恵器例(2)

遺跡	所在地	遺跡の性格	須恵器型式	出土遺構	出土器種・点数	備考
殿山遺跡	上三川町上神主	集落	TK23	KT-73	坏身(199), 坏蓋(200)	
			TK23か	KT-82	坏蓋(201)	
			TK23	KT-115	坏身(202)	
東林北遺跡	宇都宮市/壬生町	集落	TK47	KT-1号	坏蓋(203)	
			TK23～47	KT-3号	坏身(204), 高坏(205)	藤田1999編年Ⅳ期の標識資料
			TK23～47	KT-6号	坏蓋(206)	藤田1999編年Ⅳ期の標識資料
鹿沼流通業務団地内遺跡	鹿沼市上石川	集落	TK23	F I 区SK146	坏蓋(207)	
台畑遺跡	壬生町	集落	TK23～47	SI-01	坏(208)	
(日産工場付近出土)	上三川町	出土地詳細は不明	TK23～47か	表面採集資料	ハソウ(209)	
(大山古墳群周辺地域)	上三川町大山	出土地詳細は不明	TK23～47	表面採集資料	無蓋高坏(210), ハソウ(211)	
井頭遺跡	真岡市下籠谷	集落	TK23～47	8区8号住居	坏蓋(212)	
城内遺跡(真岡小学校敷地)	真岡市台町	集落	MT15	出土状況不明	ハソウ(213)	
大和田富士山古墳	真岡市大和田	古墳(前方後円墳)	TK23～47か	表面採集資料	甕(214)	共伴埴輪は方形透かし孔が皆無. それゆえ5c4/4頃と推定する意見強い
市ノ塚遺跡	真岡市高田	集落	TK23	1区SI-238	坏身(215)	
			TK23	1区SI-930	坏身(216)	
			TK23～47か	1区SI-952	ハソウ(217)	共伴土器は藤田1999・Ⅴ期
喜沢海道間遺跡	小山市喜沢	集落	TK23頃	5号住居	ハソウ(218)	
			TK23～47	8号住居	ハソウ(219)	藤田1999編年Ⅳ期の標識資料
西裏遺跡	小山市田間	集落	TK23か	SI-013	ハソウ(220)	梁木1998編年Ⅴ期, 藤田1999編年Ⅳ期の標識資料
			TK23～47か	SI-028	甕(221)	共伴土器は藤田1999編年Ⅴ期
			TK47～MT15か	SI-035	ハソウ(222)	
			TK23～47	SI-082	甕(223)	共伴土器は藤田1999編年Ⅴ期
田間東道北遺跡	小山市田間	集落	TK47	SI-008	坏蓋(224), 高坏脚部か(225)	
寺野東遺跡1号墳	小山市梁	古墳(円墳)	TK23～MT15か	墳頂攪乱中	甕(226～228), ハソウ(229)	共伴土器は藤田1999・Ⅴ期
清六Ⅲ遺跡	野木町	集落	TK23か	SI-454	坏身(230)	
上敷遺跡	足利市稲岡町/佐野市山崎	集落	TK23	A区1号住居	坏身(231)	
			TK23～MT15か	A区2号住居	坏身(232)	
馬門南遺跡	佐野市馬門町	集落	TK23～MT15か	SI-290	坏身(244), 坏蓋(245)	
			MT15	SI-286	坏身(233)	
			MT15	SI-291	坏身(234～237), 瓶(238・239), 高坏(240), 甕(241)	
			TK10	SI-294	坏身(242), 坏蓋(243)	
乙畑大久保古墳群	矢板市乙畑	古墳(円墳)	TK10	3号墳	坏身(246)	